

郵便はがき



〒四二六〇〇二五
藤枝市藤枝四二一七
大慶寺 大場正昭
Tel 〇五四六四一一二二九
Fax 〇五四六四四一六二二六

イベントのお知らせ

大慶寺では、寺の行事や法務に支障がないかぎり、境内や客殿を開放しています。今後のイベント予定は左記の通りです。

■9月3日(木)10時～15時 おかげさん今年最後のかき氷リレー▼夕方から本堂で「怪談話」▼飲食店・癒やしのお店・ワークショップ出店。

■9月27日(日)午後14時

「ガリカイ・ティリコティ」のムビラ演奏
アフリカ南部ジンバブエの伝統楽器のムビラを演奏。

■10月3日(土)10時～15時 おかげさん子育て世代の親を対象にした住職の話▼飲食店・癒やしの店・ワークショップ出店。

■10月17日(土)18時 杵屋勝彦 長唄の会
来年の藤枝大祭を控え「上伝馬屋台」
長唄師匠の独演会。

藤枝市の高野紀久男様、高野渡様、焼津市の井出知様、島田市の杉本栄造様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げます。法話箋作りの資とさせていただきます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申込は寺まで。

位牌堂地袋の箔貼り

記憶は定かでないが、10数年前に金沢を始めて訪れた。前田百万石が残した文化伝統は今もなお町中に残っていて、それを守る多くの職人さんがいるのに驚いた。その中で、特に興味を引いたのが、金箔貼りの職人さん。集中力、緊張感、持続力が必要だ。

有り難いことにその後何度か金沢を訪れる機会を得て、その都度感心して帰って来た。何度となく思い出していると、段々と体験してみたくなるのが人情だ。

そして、数年間箔貼りに填まった。思った通り難しい作業で、中々思う通りに貼れない。

しばらくは、どうしたら良いのかと格闘が続いた。

そんな時、たまたま位牌堂の地袋20数枚が傷んできて、張り替えなければならぬ状況になった。この地袋を箔で貼れたらとふと考え、試行錯誤の作業が始まった。



写真が自分で貼った地袋である。必要枚数を考えると、純度の高い金箔では50万円を超える。失敗を含めるとさらにかかる。経費が少なくて済む銀箔ならいかとも考えたが、銀箔は時間の経過と共に酸化して黒くなる。

なにかうまい方法はないかと調べているうちに「焼き銀箔」に辿りついた。色は金箔と銀箔の中間。銀箔を焼いて酸化させるので、変色はなく価格も安い。

早速、12cm四方の「焼き銀箔」を揃え、張り替え作業を始めた。出来は始めてにしてはまあまあという程度。それでも毎朝の朝のお勤めで、朝日が入り込む位牌堂の中の焼き銀箔の輝きに内心自己満足していた。しかし、8月の暑さが異常なのか、一部が剥がれてきた。

そこで、昔の作業道具を引っ張り出したが、「ドーサ液?なんだっけこれ」といった具合で、一からの出直しである。まあ、しようがないかと思いつながら、おぼつかない記憶をたよりに作業を開始した。写真を見て頂けば、何処を修理したか一目瞭然。素人ゆえご勘弁を。